

# 福島原発事故から12年 原発推進路線の撤回を求める

3・11 反西連声明

岸田政権は、「原発再稼働の加速」「老朽原発の運転期間延長」「新規原発建設」などの原発推進政策を進めようとしています。

これは福島での原発事故後、歴代の政権がとってきた「原発依存度の減少を進める」という政策を、国民の声を聞かず国会でもきちんと議論もせずに投げ捨て、日本を「原発回帰の道」へと進ませるものにほかなりません。

私たち反原発西武線沿線連合は、以下の理由から、岸田政権による原発推進路線に反対し、その即時撤回を求めるものです。

- 1 原発再稼働は過酷事故のリスクを高め、  
行き場のない放射性廃棄物を生み出し続ける  
とりわけ老朽原発を60年超稼働させることはきわめて危険である
- 2 原発の推進は、「再生エネルギー」の開発と普及に歯止めをかけ、  
「気候変動」対策の構築を妨げる
- 3 非常に高額な原発建設のコストが、  
恒常的に電力利用者の負担に転化される
- 4 すでに破綻状態となっている、危険な「核燃料サイクル」路線を  
続けることになる

私たち反原発西武線沿線連合は、  
原発よりも再生可能エネルギーの推進こそが、  
日本の未来の進むべき道であることを強く訴えます。

2023年3月11日

反原発西武線沿線連合

website▶<http://hanseiren.net> twitter▶@SCANjip

